

精神科医療機関情報交換会について

精神科医療機関間情報交換会開催の経緯と目的

「板橋区いのちを支える地域づくり計画2022」の地域におけるネットワーク強化を目的に、「区内精神科医療機関間情報交換会」を位置づけた

区内精神科医療機関が相互に情報共有し**連携を図る機会**

区内精神科医療機関間情報交換会を開催

(年に1回、区内医療機関と区内訪問看護事業所を対象に実施している)

令和6年度のテーマ：「クライシスプランについて」

クライシスプランとは：安定から悪化までの生活・病気の状態に応じた自己対処及び支援者の対応、悪化時の希望について当事者と支援者が協働的に作成するプロセスにより合意された計画

非同意入院を防ぐ上で有望な介入方法の1つ
急性増悪時等の対応にも役立つ！
 (対処や支援を「見える化」する)

令和7年度の開催に向けた打ち合わせにて出た意見

「緊急性のアセスメントが困難」「相談先がわからない」
 緊急時のアセスメント力の向上や各関係機関の連携体制の強化が必要

クライシスプランを作成しておくことで、自助の力を身につけ、緊急時においても迅速な対応をすることができる。
課題：クライシスプラン作成の普及啓発・関係機関連携

令和7年度精神科医療機関間情報交換会の概要

○開催日:令和7年12月3日(水)14時から16時

今年度新たな取組として、区内精神科医療機関および訪問看護ステーションと協力し、企画・運営を行った。

【令和7年度精神科医療機関間情報交換会の目的】

クライシスプランの効果的な活用について学びを深め、緊急時においても対象者に適切な支援を提供できるような体制を構築する。



そのための



講演



グループ
ワーク

【テーマ】

「クライシスプランの効果的な活用について
～緊急時に適切な支援を提供するために～」
→緊急時の対応に困惑、緊急性を判断しアセスメント(評価)する視点が不十分などの意見より。

【テーマ】

「支援に活かすクライシスプランの作成と活用」
→対象者にプラン作成を提案するが理解してもらえない。作成後に地域支援者への移行、共有が不十分で効果的な活用ができていないという背景より。

令和7年度精神科医療機関間情報交換会の結果

【参加機関】

医療機関	6
訪問看護ステーション	19
行政機関	5
その他	1
未回答	0

1. 講義の内容

とても良かった	良かった	あまり良くなかった	悪くなかった
35	10	0	0

2. グループワークの内容

良かった	良かった	あまり良くなかった	悪くなかった
37	7	1	0

○参加機関からの意見

「地域に戻られた際に訪問看護等医療と連携する大切さ、ポイントが学べてよかったです。」

「入院期間に「作成すること」が目的という認識が強い印象があったため、今回の学びを活用し、加筆・修正するプロセスが大切であることが分かった。」

「PSW、訪問Nsなど他職種と意見を共有したことで新たな視点でみることができ、良かった。」

「病院外に地域の現状や実践が具体的に知れた。当院から持ち帰ったクライシスプランを実際に活用していただいていることを知れた。」

クライシスプランの効果的な活用について学びを深めることでき、支援機関同士の連携強化のための一助となった会であった